

秋田杉のおぼんで児童が給食楽しむ

大館市の伝統工芸品、曲げわっぱづくりで使われなかった秋田杉を活用する取り組みです。地元の小学校で子どもたちが給食の時に使うおぼんを作り、そのおぼんで給食を楽しみました



大館市の扇田小学校。給食の時間に、配膳を受ける児童が手にしているおぼんは秋田杉でできています。

三角形の模様が組み合わさって扇田小学校の校章と市のマスコットキャラクターはちくんがデザインされています。

曲げわっぱの工房では仕入れた秋田杉のおよそ3割は曲げわっぱには適さず使われないといいます。

扇田小学校では環境教育の一環として使われなかった秋田杉を譲り受け、活用方法を考えていてアイデアを出し合あい今年はおぼんを作ることにしました。

児童が1つ1つ手作業で作りに上げた秋田杉のおぼん。

3日は初めてそのおぼんに給食をのせて楽しみました。

完成したおぼんはそれぞれの家に持ち帰って使うということです。